

令和5年11月 定例教育委員会 会議録

- **開催日時** 令和5年11月9日(木) 午前9時30分 から 午前12時00分
- **開催場所** 長井市役所2階 市民防災研修室1(南)
- **出席者** 委員 土屋正人教育長、遠藤倫夫教育長職務代理者、小野卓也委員、鈴木奈美委員、長沼真知子委員
事務局 高世潤教育総務課長兼給食共同調理場長、安倍玲子給食共同調理場補佐、横澤聡一学校教育課長、吉川幸代地域づくり推進課補佐兼生涯学習推進室長、渋谷和志観光文化交流課長、鈴木由布子健康スポーツ課補佐、今野透学校教育課補佐兼こども未来創造室長、長澤春香教育総務係長

○ 会議次第

日程第1 会議録署名委員の指名について

日程第2 日程報告

- i 教育長及び各課日程報告
- ii その他事務報告

日程第3 付議事項

- ① 議案第18号 長井市指定管理者候補選定委員会規程の一部を改正する訓令の制定について
- ② 令和5年度長井市一般会計補正予算(案)(教育総務課分)について

日程第4 協議・報告事項

- ① 「長井市教育振興計画」の策定状況について
- ② 調理場の事案について
- ③ 指定校変更・区域外就学対象者一覧について
- ④ 多様性(制服)について
- ⑤ 部活動の地域連携について
- ⑥ 令和5年度長井市一般会計補正予算(案)(観光文化交流課分)について
- ⑦ 令和5年度長井市一般会計補正予算(案)(健康スポーツ課分)について

日程第5 その他

- 1 次回の定例教育委員会の開催について

日時(案): 令和5年12月20日(水) 午前10時00分

会場(案): 市民防災研修室1(南)

○ 会議の概要

■ 日程第1 会議録署名委員の指名

教育長は鈴木奈美教育委員を指名し、出席委員から承認された。

■ 日程第2 日程報告 i 教育長及び各課日程報告

教育長及び課長等による日程等の報告後、教育長は質問、意見を求めた。

委員 キャリアフェスティバルには中学生は何人くらい参加予定なのでしょうか。
学校教育課長 事前申し込み制ではないので把握できていません。各中学校には、10名程度ずつ参加していただけるよう協力をお願いしています。

委員 2日の読育推進ネットワーク研修会に参加しました。くるんと中央部のオープンスペースは、図書館が関係していればどんなイベントでもできる、ということで非常に可能性を感じました。読育については、読み聞かせをしたり脳波を測ったり様々取り組みがあったように思いますが、最近下火であると感じています。もっとPTAや市全体に、幼児だけでなく小学生くらいまでは有効であること、どういう知育効果があるのかについて説明会を開催したりしていければ良いのではないかと思います。

地域づくり推進課補佐 様々な機会を捉えて事業を検討していきたいと思います。

委員 図書館でイベントをしても来る人は限られるので、学校や別のところに向向いて読育について説明する時間を作った方が良いと思います。図書館の中だけだと広がりが弱いかなと思います。

教育長 くるんと内でもあそび場にも読み聞かせができるスペースがありますし、オープンスペースも活用できていると思います。

委員 子供対象だけではなく、大人対象の読み聞かせも面白いと思います。

委員 自分で活字を読むのは苦手だけど読んでもらうと集中して聞く子供もいます。また、読み聞かせは子供にとってリラックスタイムにもなると思います。

委員 長井小では母親委員会で持ち回りで読み聞かせを行っていますが、性教育についての読み聞かせをしている保護者がいて、非常に良いと思いました。

■日程第2 日程報告 ii その他事務報告

教育長は各課長等に報告すべき事項があるか尋ねたが、各課長等からの発言は無かった。

■日程第3 付議事項 ①議案第18号 長井市指定管理者候補選定委員会規程の一部を改正する訓令の制定について

教育総務課長による説明後、教育長は質問、意見を求めた。

委員 教育総務課長が抜けるのはなぜか。

教育総務課長 参事職を充てていますが、教育委員会には参事職がないため削除するものです。

教育長 ただし、教育長が副委員長として参加しており、評価も行います。バランスを欠いた選定にはなっていないと思います。

委員 委員として教育長が入っているとはいえ、教育委員会からの位置づけ、というのは必要なのではないかと思います。組織改革をした意味は、社会教育とまちづくりを一体化して協力してやっていく、という大きな柱があるわけですので、教育委員会が位置付けられていない、というのは、その考え方と整合性が

取れないのではないかと思います。
教育長 市長部局と再度検討することとします。

その他に質問等は無かった。

**■日程第3 付議事項 ②令和5年度長井市一般会計補正予算（案）（教育総務課分）
について**

教育総務課長による説明後、教育長は質問、意見を求めた。

委員 今回の補正には10月の自然の家での事故に関する修理費も入っているのでしょうか。

教育総務課長 その分は既決予算で対応しています。それらの修理をした結果、通常の3か月点検などにかかる費用が足りなくなる見込みのため、補正を行うものです。

その他に質問等は無く、教育長が承認を諮ったところ、全員異議なく承認された。

■日程第4 協議・報告事項 ①「長井市教育振興計画」の策定状況について

教育総務課長による説明後、教育長は質問、意見を求めた。

委員 P1について、理解するのにエネルギーを使います。一文が長く、文の中に色々な要素が入っていて読解力が必要なので、箇条書きにする等工夫してほしいと思います。また、長井市の子供の現状についての記載も必要だと思います。現状把握があって、その現状を始点にして計画を作るのだ、ということを示した方がよいのではないかと思います。また、P9の教育施策の内容中、基本施策1（4）健やかな成長推進とは具体的にどのような施策を意味しているのでしょうか。また、生涯スポーツと文化芸術の記載がないようですが、どう位置付けるのでしょうか。

学校教育課補佐 （4）健やかな成長の推進については、子供達の身体づくりについての項目になります。もっと具体的な内容が分かりやすいように文言を検討します。また、生涯スポーツ・文化芸術については、それぞれの分野で別計画の策定を行う予定です。P7に計画の範囲を記載していますが、より分かりやすいように修正します。

委員 P1の文章は読みにくいと感じました。箇条書きや図式など、シンプルな書き方にしていきたいと思います。また、P9の目標の縦枠が読みにくいので、レイアウトを変更していきたいと思います。

委員 文中で大切なキーワードを太字にしたり、下線を引いたりすると見やすくなるし、文を最初から最後まで読まなくても何について書いてあるのか把握できるのではないかと思います。また、基本施策3について、（1）スクール・コミュニティの推進と（2）地域と学校の協働活動の充実は一つにまとめた方が良

いのではないかと思います。ここを別建てして地域と学校を別物として見ていることが、スクール・コミュニティがなかなか進まないことにも繋がっているのではないのでしょうか。

学校教育課補佐 スクール・コミュニティについては、これから重点的に推進していく、と打ち出していく意味合いも込めて別建てとしています。地域学校協働活動だけを包含しているわけではなく、地域づくりなども含むものでもありますので、あえて前に大きく打ち出して、市長部局等との連携も含めて進めていく、という5年間の位置づけを示しています。

委員 スクール・コミュニティの推進の成果指標について、「学校運営協議会を年3回以上開催している学校の割合」が使われていますが、スクール・コミュニティが実現した姿としてどういう姿を描くかを指標にするべきだと思います。

教育長 策定検討委員会でも同じような意見が出ました。学校運営協議会で子どもを真ん中にした熟議をたくさんしてほしい、という願いがあり、それには回数も必要だと思い、回数の指標としました。回数を目標にしたからと言って、ただ開催すれば良い、ということとは考えていません。質が大事なので、熟議の中で学校課題を明確にして共有した上で協議してほしい、と学校にお願いしているところです。

委員 スクール・コミュニティの最終的な目標は、学校を核にして地域全体が活性化することだと思います。これが(2)だと思うので、(1)と統一しても良いと思いますし、「学校教育の指標でもあるが、地域づくりとしての指標でもある」というものが必要なのではないかと思います。

学校教育課補佐 設定時の考え方としては、本計画は5年間ですが、スクール・コミュニティに関しては5年間で最終目標まで辿り着くことができるものではないと思っています。この5年間は周知・啓蒙や環境の整備をする段階だと捉えており、スクール・コミュニティの推進においては学校運営協議会の変革も必要であるため、この指標を取ったところです。結果として、地域の方々の行動の変容も目標にしていきたいところですが、施策3全体の成果指標は、P13にあるとおり「地域活動のうち「教育・青少年育成活動」及び「子育て家庭支援活動」に参加している人の割合」を取っており、こういう活動に参加する人が増えるほどスクール・コミュニティの充実に繋がっていくという指標になり得るだろうと考えています。

教育長 指標については、施設の複合化と結びつけることもできるかと思いますし、学校施設をどう地域に開放するか、ということも指標になり得るかもしれません。色々な取り方がありますが、5年間というスパンを考え、この指標を採用したところです。

委員 学校に出入りする地域の人々の人数を増やす、ということを目標にする方がスクール・コミュニティの推進には近いような気がします。具体的にしていけないと、「スクール・コミュニティって良いものらしい」というイメージのまま5年間が過ぎかねません。学校に出入りする地域の人がたくさんいる、という指標だと具体的にイメージできるのではないかと思います。

委員 (1) スクール・コミュニティの推進と、(2) 地域と学校の協働活動の充実
は、順番的に逆なのではないかと思えます。学校の教育活動に地域がどんどん
入ってきてもらうのが最初で、次の段階がスクール・コミュニティではないで
しょうか。

学校教育課補佐 今までの地域学校協働活動はこれからも続けていきますが、この趣
旨は、学校の活動に地域の力をお借りする、というものです。スクール・コミ
ュニティは、「学校のために」ではなく、「学校で」地域の方が活動する、とい
う視点が大切になってきます。地域の皆さんの活動の場が学校である、その活
動の中に子供との関わりもある、のがスクール・コミュニティであるため、ベ
クトルが大分違います。地域の活動は多様にありますが、コミセンだけではなく、
学校の教室や体育館、グラウンドも活動の場になるコミュニティを今後目
指していく、というのがスクール・コミュニティの概念です。ここは切り分け
ておく必要があると思えますし、スクール・コミュニティはこれから新たに打
ち出すものですので、強く打ち出す意味で最初に持ってきています。

委員 そのベクトルを一緒にして考えるべきではないかと思えます。分けている以
上、どちらかに軸足を置かざるを得なくなると思えます。

教育長 学校も地域づくりの一つにする、というイメージ作りが必要だと思っており、
子どもを真ん中にした社会をみんなで話し合うことが必要だと認識しています。
今市長部局にも投げかけているので、どう進めていくか検討していきたいと思
います。

委員 目標値について、設定が高すぎるのでは、と思うものがいくつかあります。
成果指標にしているからには、達成できなかったときは計画失敗と見なされま
す。目標値は現実的な、少し頑張ればできるくらいのハードルに設定した方が
良いのではないのでしょうか。「好き」や「楽しい」と思う子供の割合を上げるの
はとても難しいと思えます。

学校教育課長 「好き」や「楽しい」と思う児童生徒の割合の現状値は、全国学力・
学習状況調査のアンケートを元にしてしています。経年変化ではなく、その年の小
学校6年生と中学校3年生の結果であり、年によって大分増減がある値になっ
ていますので、平均を見て設定しています。

教育長 今回意欲などが下がっており教育委員会としては大変残念でした。ここに力
を入れたい、という思いと、比較するわけではありませんが全国平均までは上
げたい、という思いで目標値を設定しています。

委員 目標1、基本施策2の大きな成果指標と、(2) 安心安全なスクールバスの運
行の成果指標がどちらも「スクールバス車両更新率」になっていますが、基本
施策2全体の成果指標がスクールバスの車両更新率なのは違和感があります。

教育総務課長 本来学校施設と言えば校舎や設備の整備になり、現状進めてもおりま
すが、施設整備は国の補助メニューの採択の関係もあり、必ず何年度に実施で
きる、という確約がないこと、また、大きな施設整備事業は市の公共施設整備
計画に掲載されている必要がありますが、この計画もまだ策定になっておりま
せんので、現状取り得る数字としてこの目標値を設定させていただいたところ

です。なお、市の総合計画でも同じ指標を使用しています。

委員 目標1、基本施策2について、本文にスクールバスについての記載がないのに指標に突然上がっていることに違和感を覚えました。後ろの施策ごとのページには記載があるので、そこまで読むと納得できますが、ここで読み終わってしまう人もいるかもしれず、その方は理解できないと思います。目次ももう少し細かい記載があると、自分の興味のある所だけ読みたい、という人も分かりやすいと思います。また、目標1、基本施策2、(3)安全でおいしい給食の提供、①調理場の運営と給食の提供の指標の「給食が好きな子供の割合」について、同じ給食を食べているのに小学生と中学生で差があるのが気になりました。どんなことに不満を持っているのか調査しているのでしょうか。

給食共同調理場長 まるごとながい給食を提供させていただいた時に全校児童生徒に、好きか、嫌いか、嫌いな場合はどんなところが嫌いなのか、アンケートを取っています。どんなところが嫌いかについては、「美味しくない」、「嫌いなものがある」、「時間がない」、「お腹が空いていない」、「家で食べていないものが出る」という項目から選んでいただいています。小学生は、「美味しくない」と答えた子どもはほとんどおらず、「嫌いなものがある」、「時間がない」を選んだ子が多く、ここをクリアすると目標値に届きます。中学生は、「美味しくない」が一気に増え、「嫌いなものがある」も増えています。具体的に何が嫌いかまでは回答をいただいていませんが、「美味しくない」の割合を減らせるように努力したいと思っています。

教育長 ただ、給食はレストランではなく、「食育」という目的を持って提供しているので、塩分を増やして美味しくしよう、というのは違うと思っています。

委員 小学生のうちには「食べなければならぬもの」という気持ちがあっても素直に受け入れていたのが、中学生になって自我も強くなり、「美味しくないものは美味しくない、なぜ食べなきゃいけないの」という思春期特有の気持ちもあるのかもしれません。そこに対しては、「美味しいと言わせよう」ということはなくても良いと思います。身体に必要で、良いものを適量提供していただいていると思っておりますので、感謝の心を持つよう教育したいし、目標設定もここまで高くなくて良いのではないかと思います。

委員 「安全」の部分で指標を取るのも良いのではないかと思います。

教育長 いただいた意見を元に検討し、必要な箇所は修正することとします。

その他に質問等は無く、教育長が承認を諮ったところ、全員異議なく承認された。

■日程第4 協議・報告事項 ②調理場の事案について

給食共同調理場長による説明後、教育長は質問、意見を求めた。

委員 こぼれた米のみならず、炊きあがった米も廃棄しなければならなかったのでしょうか。

給食共同調理場長 事業者の規定ですべて廃棄することになっています。

委員 学校への配送が遅れる等の影響はなかったのでしょうか。

給食共同調理場長 ございません。

委員 損害だと思いましたが、保証などはどうなっているのでしょうか。

給食共同調理場長 事業者の過失であるため、補填していただくよう調整しています。

その他に質問等は無く、教育長が承認を諮ったところ、全員異議なく承認された。

■日程第4 協議・報告事項 ③指定校変更・区域外就学対象者一覧について

学校教育課長による説明後、教育長は質問、意見を求めたが、質問等が無く、教育長が承認を諮ったところ、全員異議なく承認された。

■日程第4 協議・報告事項 ④多様性（制服）について

学校教育課長による説明後、教育長は質問、意見を求めたが、質問等が無く、教育長が承認を諮ったところ、全員異議なく承認された。

■日程第4 協議・報告事項 ⑤部活動の地域連携について

学校教育課長による説明後、教育長は質問、意見を求めた。

教育長 スポーツのクラブについては進めています。芸術文化についてはスポーツほど進んでいない、ということを示す必要があるのではないかと思います。また、クラブもある、部活もある中で、部活に入る子どもはどういう子、ということがもっと分かりやすくなるとういと思います。フロー図は「Yes」、「No」という表記になっていますが、自分の意思でなく現実的に選択できない、という場合もあります。自分のしたいものがない子どもがいないように、移行期間として部活を2年間存続させる、という思いが伝わらないように思います。

委員 スポーツ少年団のコーチたちは、部活動がなくなる、と認識している方が多く、誤解が生じていると思います。

学校教育課長 説明会に来ていただけていない団もありますので、そのような方で誤解されているのかもしれませんが。月～金は部活動があります、という文言は文書にも記載しておりますが、分かりやすいようにレイアウトを変更します。なお、受け入れてもらえるクラブのリストも作成し、配布する予定ですが、1月中旬以降になる予定です。

委員 文書に記載している内容は、Q&Aのような形だともっと分かりやすいと思います。

委員 大会は土日にあるものが多いと思いますが、どうなるのでしょうか。

学校教育課長 中体連については、部活動は今まで通り学校として参加することになります。クラブは出るか出ないかを自分たちで選択していただくこととなります。中体連以外の大会は基本的には土日には行わないことになっています。

その他に質問等は無く、教育長が承認を諮ったところ、全員異議なく承認された。

■日程第4 協議・報告事項 ⑥令和5年度長井市一般会計補正予算(案)(観光文化交流課分)について

観光文化交流課長による説明後、教育長は質問、意見を求めたが、質問等が無く、教育長が承認を諮ったところ、全員異議なく承認された。

■日程第4 協議・報告事項 ⑦令和5年度長井市一般会計補正予算(案)(健康スポーツ課分)について

健康スポーツ課長による説明後、教育長は質問、意見を求めたが、質問等が無く、教育長が承認を諮ったところ、全員異議なく承認された。

■日程第5 その他 1 次回の定例教育委員会の開催について

教育総務課による説明後、次回の定例教育委員会は案のとおり開催することで決定した。

以上をもって12:00、11月の定例教育委員会を閉じた。

会議録署名

教育長 土屋 正人

委員 鈴木 奈美